

浦和を歩こうマップ

歴史と緑の散歩道 北浦和から瀬ヶ崎へ



イエス御像

④カトリック北浦和教会

皇山町
聖フランシスコ会修道院・聖フランソア幼稚園
昭和14年ごろに皇山町の松林であったこの土地に聖フランシスコ修道院が建てられました。皇山地区地区計画は市の第1回景観協力賞に選ばれた。閑静な住宅地が広がっています。

※寺や教会など見学を希望する場合は、了解を得るなどして迷惑にならないようにしましょう。

●公民館 ●石 ●石造物 ●バス停



③庚申塔

領家6丁目付近
享和2年(1802)
日月、青面金剛、二鶏、三猿、邪鬼が刻まれ、手には剣、シヨケラ、三叉戟、輪宝、矢、弓を持っています。

点線見学コースは古くからある道を多く含んでいます

②廓信寺の三門と仁王像

(平成18年に大修理)
三間一戸の八脚門。
旧浦和市では内谷の一乗院とここだけ。江戸後期の建物。鬼瓦は安政2年。
仁王は金剛力士とも呼ばれ、寺院などに仏敵が入り込むことを防ぐなど、仏道を守る使命を帯びた存在です。



「阿形像」



「吽形像」

①廓信寺 北浦和3丁目

浦和郷一万石の代官中村吉照が旧主高力清長(岩槻城主)追福のために慶長年中に建立した浄土宗の寺です。木造阿弥陀如来坐像は大坂城の内仏であったものを拝領し寺の本尊としたものといわれ、鎌倉時代初期の作と考えられます。ほかに板石塔婆、小泉蘭斎墓碑、鳳凰文欄間、カヤなどがあります。



聖観世音菩薩立像

⑤東泉寺

瀬ヶ崎2丁目
天台宗比叡山延暦寺末寺、開創は天長6年(829)平安初期で、旧浦和市における古代創建九寺の一とされています。
本堂内にはご本尊の阿弥陀如来像のほかに聖観世音菩薩立像や不動明王像など。境内周辺には阿弥陀如来像はじめ江戸中期の石造物が多くあります。



あじさい

緑地公園

桜